

**amazonEDI対応！
Amazon独自フローに対応し、
業務負荷95%削減した
老舗インテリアメーカーの事例紹介**



ユーザックシステム株式会社 西日本ソリューション営業部 課長 川村 優（まさる）

プロフィール

2007年ユーザックシステム株式会社入社。
オリジナルソフト「名人シリーズ」を中心に、
業務改善のコンサルティング及び
ソリューション提案を行うチームに在籍。
主に物流業務・受発注業務の改善を得意としている。
仕事ではお客様の業務改善、
プライベートではゴルフのスコア改善に日々努力中。

Amazon最新情報

アマゾン グローバル売上高（単位：百万 \$）

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	割合
United States (アメリカ)	\$	54,717	70,537	90,349	120,486	160,146	193,636	263,520	68.3%
Germany (ドイツ)		11,919	11,816	14,148	16,951	19,881	22,232	29,565	7.7%
United Kingdom (イギリス)		8,341	9,033	9,547	11,372	14,524	17,527	26,483	6.9%
Japan (日本)		7,912	8,264	10,797	11,907	13,829	16,002	20,461	5.3%
Rest of world (その他の地域)		6,099	7,356	11,146	17,150	24,507	31,125	46,035	11.9%
Consolidated (連結)	\$	88,988	107,006	135,987	177,866	232,887	280,522	386,064	

2019年

1兆7,442億

1,800万円

(1\$=¥109)



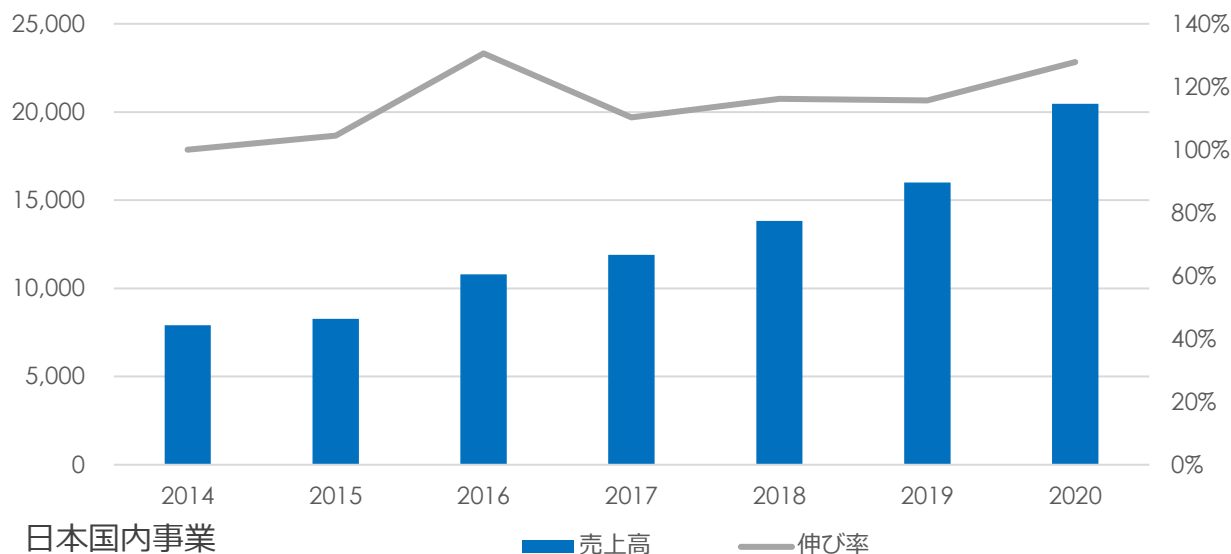
2020年

2兆1,893億

2,700万円

(1\$=¥107)

出展：アマゾン 年次報告書



日本国内事業

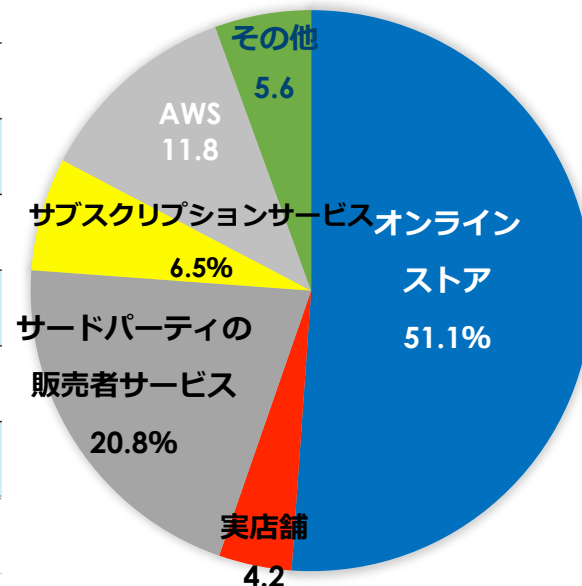
■ 売上高

— 伸び率

Amazon最新情報

売上高内訳

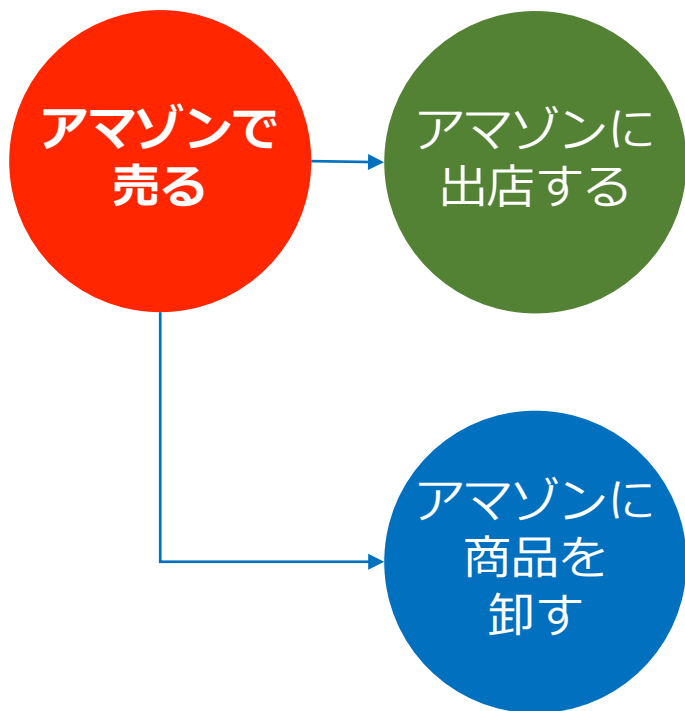
	2017	2018	2019	2020
オンラインストア	108,354	122,987	141,247	197,346
実店舗	5,798	17,224	17,192	16,227
サードパーティの販売者サービス	31,881	42,745	53,762	80,461
サブスクリプションサービス	9,721	14,168	19,210	25,207
AWS	17,459	25,655	35,026	45,370
その他	4,653	10,108	14,085	21,453
連結	177,866	232,887	280,522	386,064



日本国内製品売上高

$$\begin{aligned}
 &2 \text{ 兆 } 1,893 \text{ 億 } 2,700 \text{ 万円} \times 51.1\% \\
 &= 1 \text{ 兆 } 1,187 \text{ 億 } 4,600 \text{ 万円}
 \end{aligned}$$

Amazonとのビジネスとは



Amazonマーケットプレイスを利用し、
Amazonに出店する

利用するシステムは
セラーセントラル

Amazonに商品を卸し
Amazon本体が商品を販売する

利用するシステムは
ベンダーセントラル、EDI

セラーセントラル≡
「ECショップ管理システム」

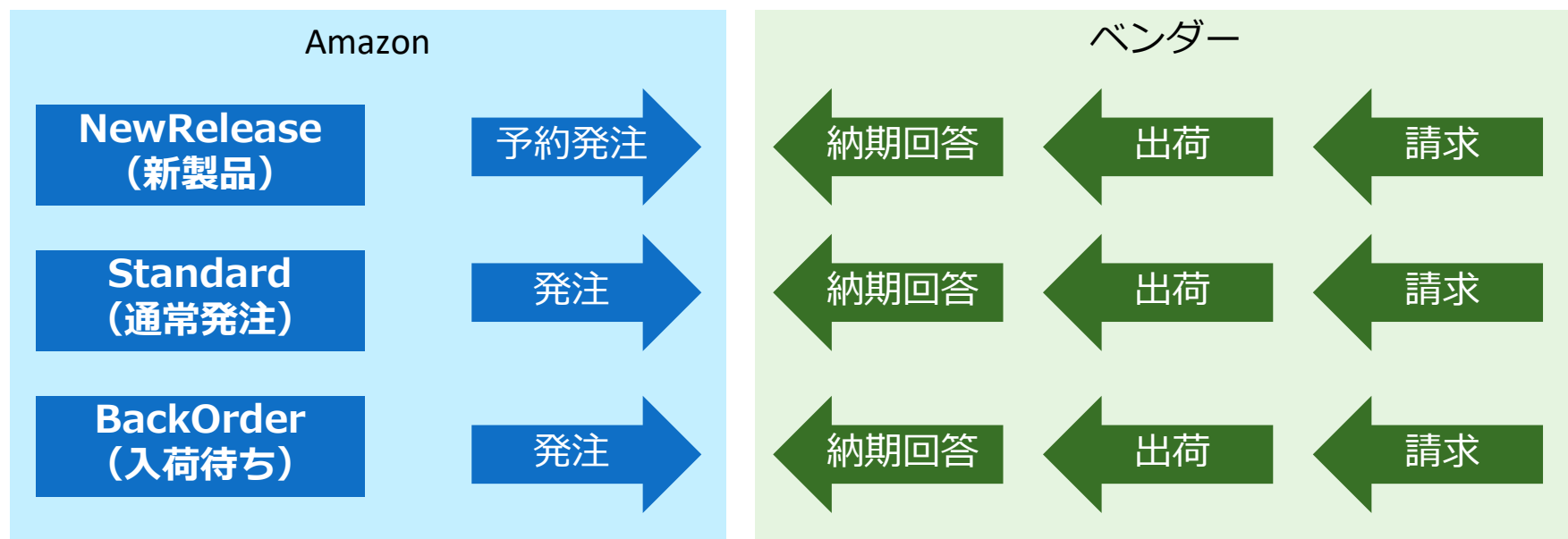
商品マスタ管理（画像アップロード）
在庫管理、受注管理が可能

ベンダーセントラル≡
「調達Webシステム」

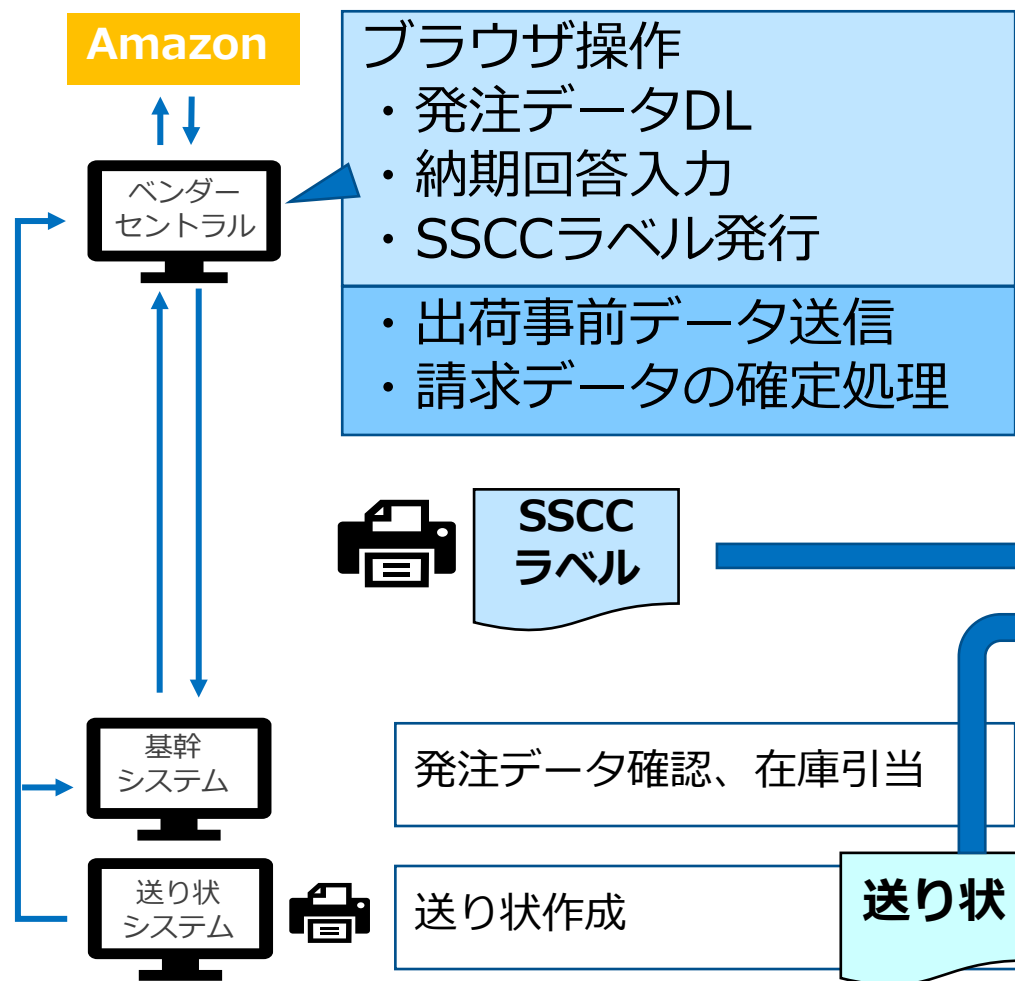
受注確認（DL）、納期回答入力（UL）
出荷入力（UL）、納品ラベル発行
などが可能

Amazonとの取引（Amazonに商品を卸す）

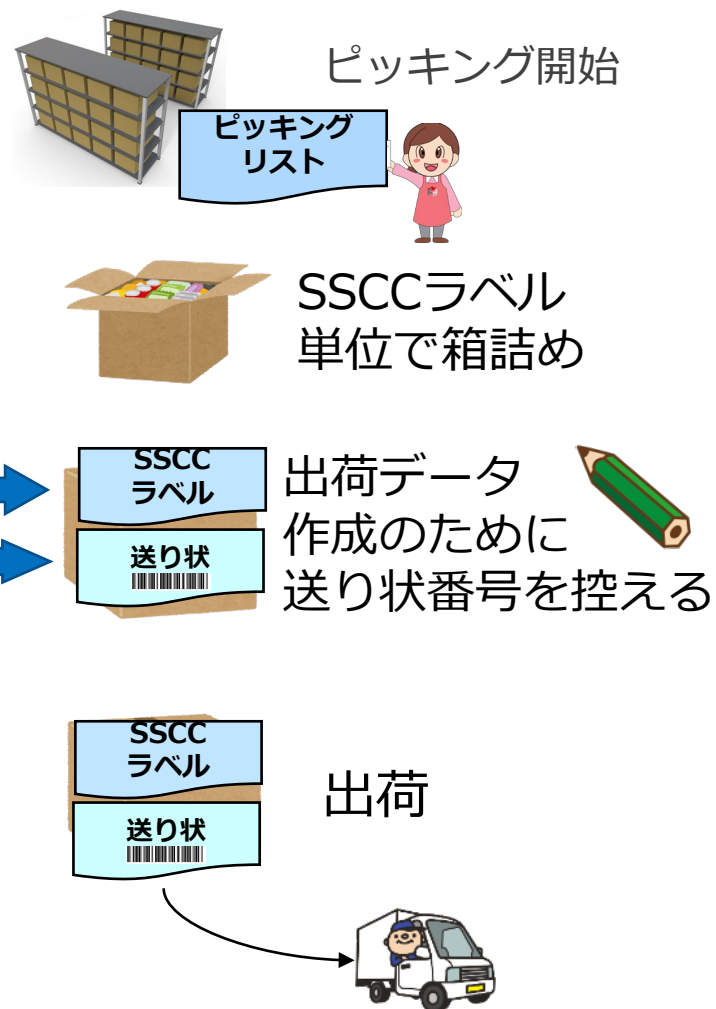
ベンダーセントラル利用の場合に
対応必要なメッセージ



ベンダーセントラルの業務フローの一例



ピッキング・出荷作業



ベンダーセントラルでの業務課題

リードタイムにおける課題

出荷数等の納期回答をすぐに送信しなければならないため
Amazon対応の負荷が大きく時間に追われる

出荷作業における課題

SSCCラベルが事前発行のため個口数を予め決める必要があり
ベテランの担当者でないと対応できない

出荷データに送り状番号を付加する必要があり
出荷作業時に送り状番号を控える手間が発生する

データ精度における課題

受注～出荷まで様々な作業を人海戦術で行うため
人的要因の間違いが発生する。

AMAZONでの販売を強化したいが
出荷量が増えると・・・

ベンダーセントラルでの手作業では
負担が大きい



AmazonEDI（ファイル転送型）で
負担を軽減！

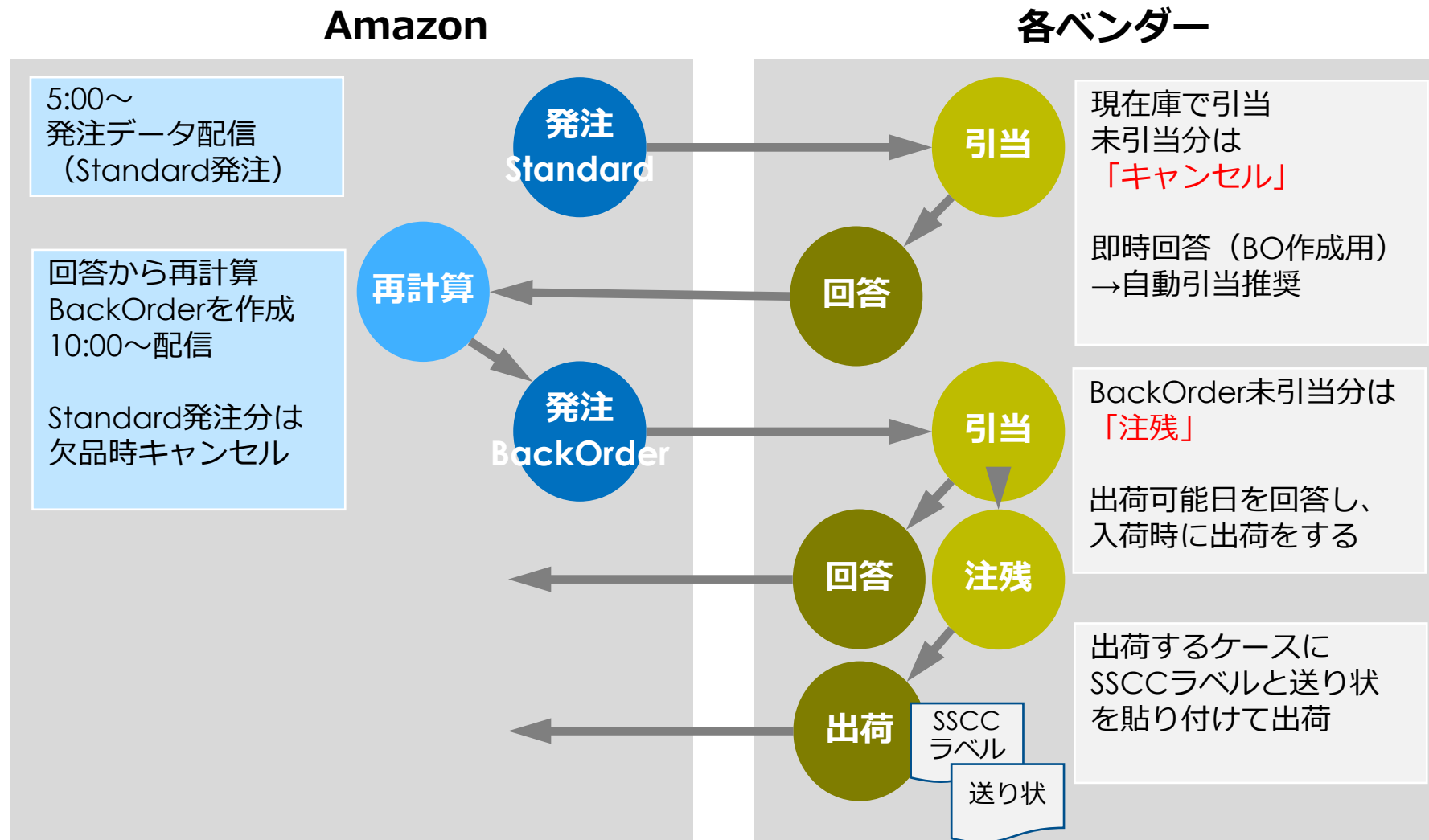
Amazon EDI対応のポイント

納期回答・注残管理

LPレシーブ対応

ベンダーセントラルとの使い分け

納期回答・注残管理



LPレシーブ対応 【SSCCラベルの仕様】

SSCCラベル（梱包情報ラベル≒SCMラベル）

SSCCバーコード付きラベルのサンプル

The image shows a sample of an SSCC (Serialized Shipping Container Control) label. It is divided into two main sections. The top section contains shipping information and a barcode. The bottom section contains PO# (Purchase Order) information. The barcode is a standard 1D barcode with a unique number. Below the barcode, there are five numbered circles (1 to 5) corresponding to the digits of the barcode number. The PO# section is a table with two columns of alphanumeric strings.

Ship From:		Ship To:	
Vendor Co.Ltd		AMAZON DC (HARITA)	
sscc-18			
			
00 0 4512345 123456789 9			
① ② ③ ④ ⑤			
PO#			
A9999999	J4444444		
M8888888	A3333333		
Z7777777	P2222222		
O6666666	A1111111		
N5555555	N0000000		

出荷ケース毎にユニークな番号を採番し、
バーコード化して印刷する

※流通BMSの出荷梱包（紐付けあり）と同様の運用

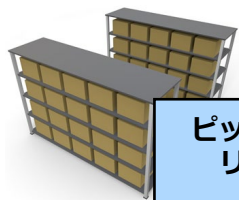
ケース内の商品のPO番号（アマゾン発注番号）を
記載する

AMAZONEDIポイント

※検品前にラベルを発行する場合、
PO毎に揃えてから検品する必要がある

※流通BMSの場合はラベルに発注番号は記載しないので
検品後、データ送信する際に紐付ければOK

LPレシーブ対応【ASNデータの作成】



ピッキング開始



箱詰めの際に
商品バーコードをスキャンし
出荷実績データを作成



出荷データ
(商品/数量)

PO番号
データ



1箱分の検品が終了すれば
プリンタから
SSCCラベルと送り状を発行



SSCCラベルと送り状を
箱の側面に貼付し、
ハンディーターミナルで
送り状バーコードをスキャン
or 自社採番による紐づけ



紐づけ

ASN
データ

送状問合せ
番号データ

LPレシーブ対応とは

ベンダー

出荷時に**出荷事前データ(ASN)**を作成し、Amazonに送信

- ・ 輸送箱に含まれる商品番号、数量、PO番号
- ・ 箱ごとのSSCC
- ・ 箱に添付されている送り状の問合せ番号

など 正確な出荷情報を記載

ラベルのSSCCと
ASN内のSSCCを一致させる

出荷する箱単位で
SSCCラベルを貼って出荷

SSCCバーコード付きラベルのサンプル

Ship From:	Ship To:
Vendor Code:	AMAZON DC (MAMTA)
SSCC 18 00 0 4512345 123456789 9	
PC#	
A9999999	J4444444
M8888888	A3333333
Z7777777	P2222222
C6666666	A1111111
N5555555	N0000000

Amazon

ASNデータを受信

箱ごとのSSCC
商品番号、数量、PO番号...

送信

箱の中身と
ASNの明細を
一致させる

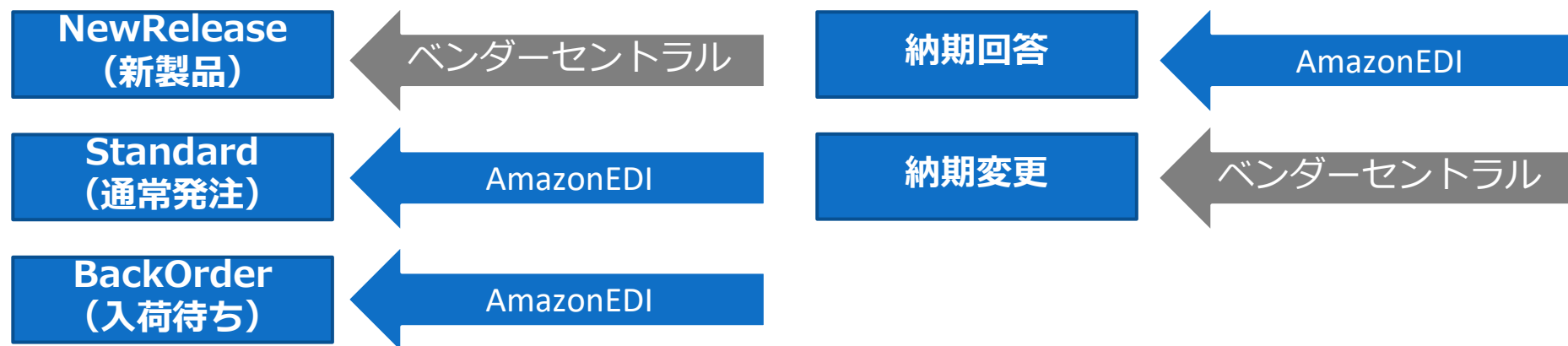


Amazon側が受領時に
SSCCラベルの
バーコードをスキャン

↓
受領済みのASNを
利用して一括受領

ベンダーセントラルとの使い分け

AmazonEDIとベンダーセントラルは併用が可能なので
イレギュラー等はベンダーセントラルにて運用することも可能



イレギュラーや自動化が難しい取引を無理にシステムに組み込まず、
ベンダーセントラルから手入力することも検討を。

AmazonEDIに必要な要件まとめ

**AmazonEDIでは
日本国内企業では利用していない通信方法、発注形態などを採用**

1. EDI関連のポイント

①通信方式	SFTP + ANSIフォーマット	日本では利用されていない通信方法 SFTP = SSH File Transfer Protocol ANSI = American National Standards Institute ⇒米国統一規格のセキュアなFTPを指す
②データ種別	納期回答	発注受信後、 出荷前に「在庫の有無」「入荷予定日」の 返信が必須
③発注区分 (メッセージ種別)	BackOrder	「在庫なし = 注残」として入荷後発送 欠品・キャンセル扱いとならない

2. 物流関連のポイント

①出荷ラベルと 梱包情報	SSCCラベル + 送り状No	SSCCラベル (≒SCMラベル) 梱包情報 + 運送会社の送り状Noを ASN (出荷事前データ) として送信
-----------------	-----------------------	--

EDI化への変更後に得られる効果

リードタイムの削減

発注データを貴社の基幹システムに取り込むことができ、
発注～納期回答までの業務時間を短縮し、納品までの
リードタイムの削減が可能

出荷作業における課題

SSCCラベル発行・事前出荷通知データ作成等の
LPレシーブ対応機能を備えたAmazon検品システムにより
手間を削減し、納品精度が向上

データ精度における課題

システムの自動化が進むことにより、
人的要因の間違いが削減され、データ精度が向上

amazon対応に成功した イケヒコ・コーポレーション様 事例ご紹介

株式会社イケヒコ・コーポレーション様ご紹介



事業内容

インテリア、寝具製品の製造販売

事業規模

資本金 1 億円、従業員340名 (2020年2月)

物流センター数

福岡 1 拠点 (同一敷地内複数倉庫)

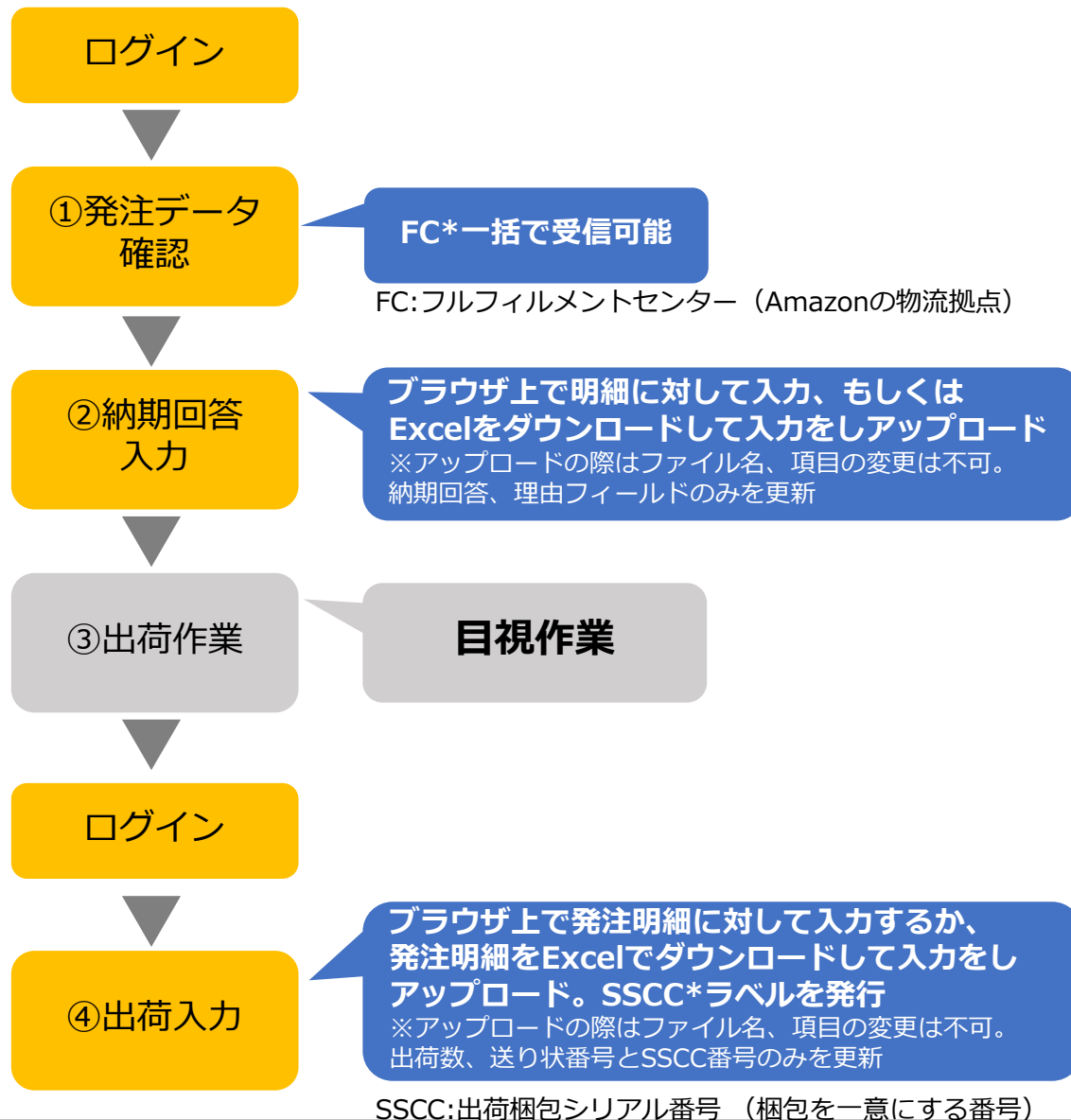
導入前の課題



課題

- Amazon売上拡大戦略
3年後売上2.5倍
- 業務効率化（事務・物流）

導入前の課題



「取引明細が多いと？」

納期回答が煩雑、在庫が適正か不明などの課題が出る。在庫引き当て＝基幹側での適正な在庫管理が必要。

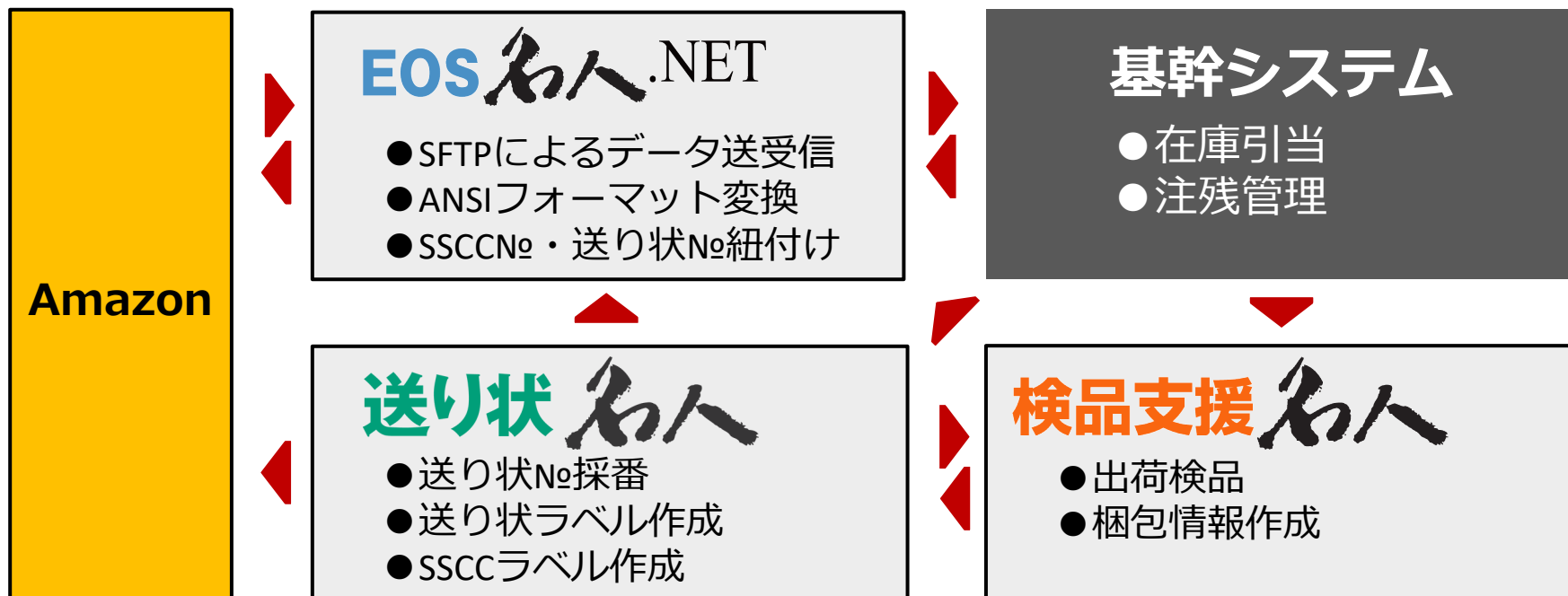
「庫内作業が多いと？」

ピッキングの効率、検品作業、梱包計算や送り状の紐づけなどで手間がかかる。

「出荷入力が多いと？」

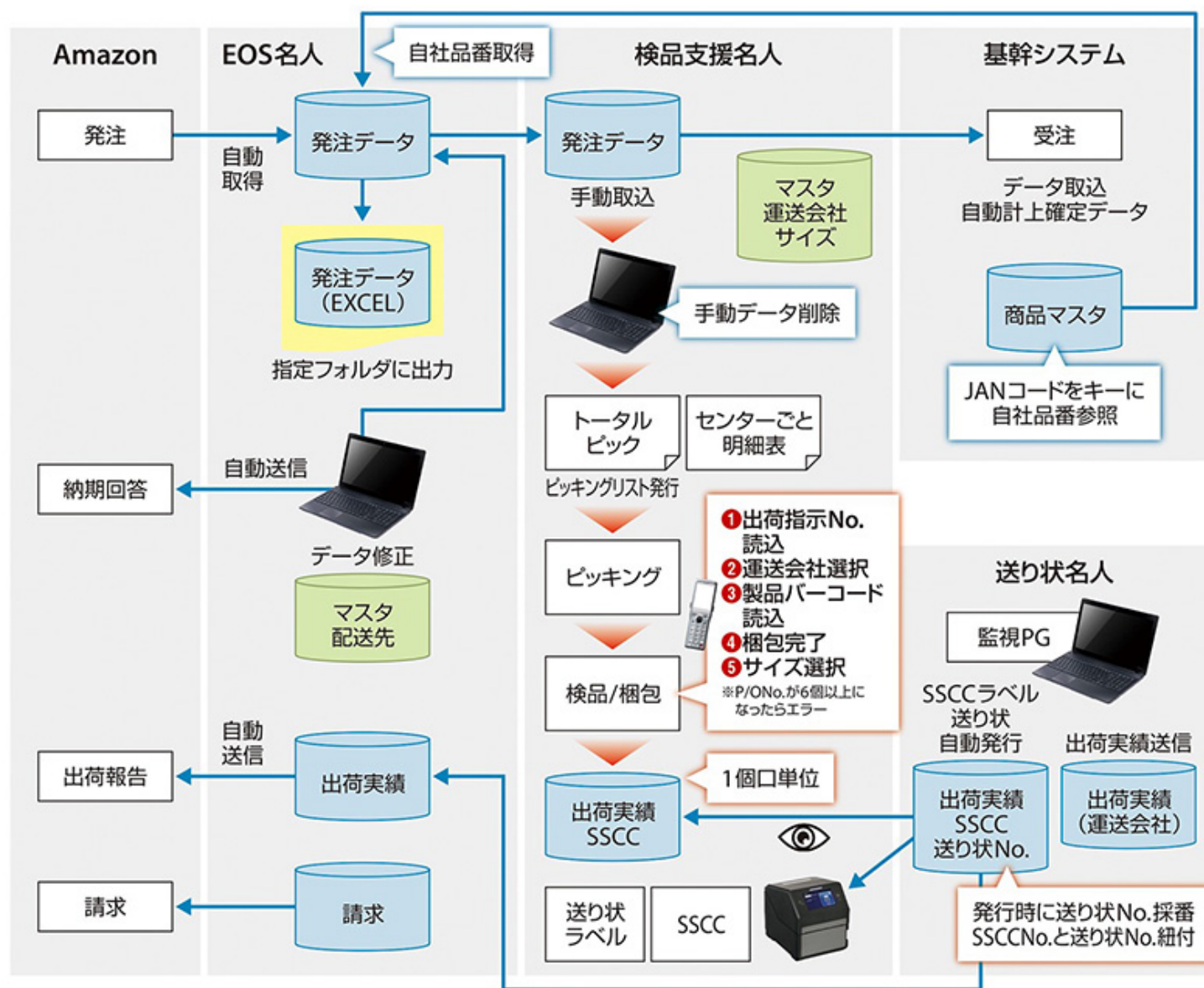
SSCCラベルが発行できず、出荷時間に間に合わない。

名人シリーズによるAmazon対応

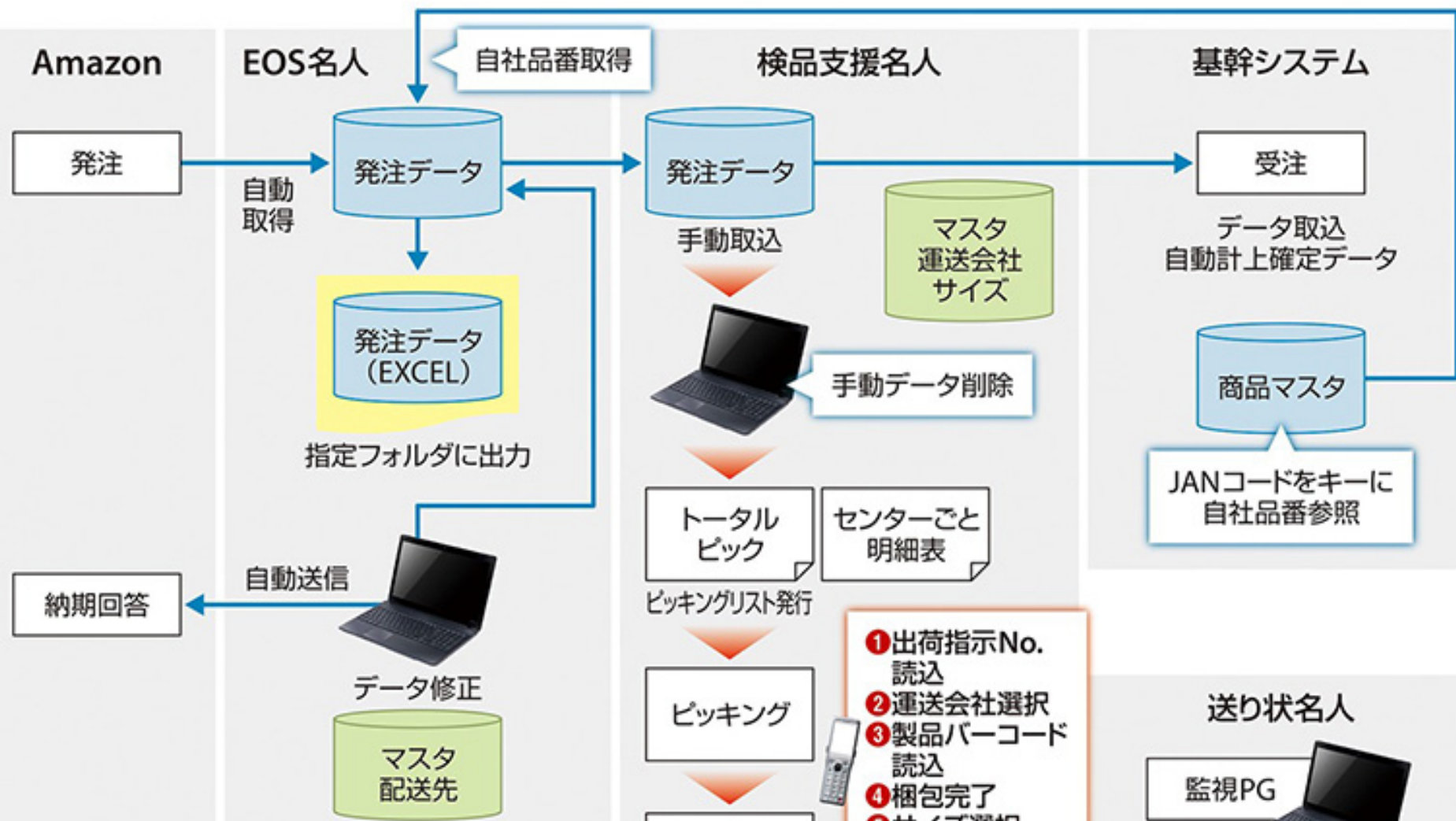


AmazonEDIで求められる個別フローを3つの名人でカバー

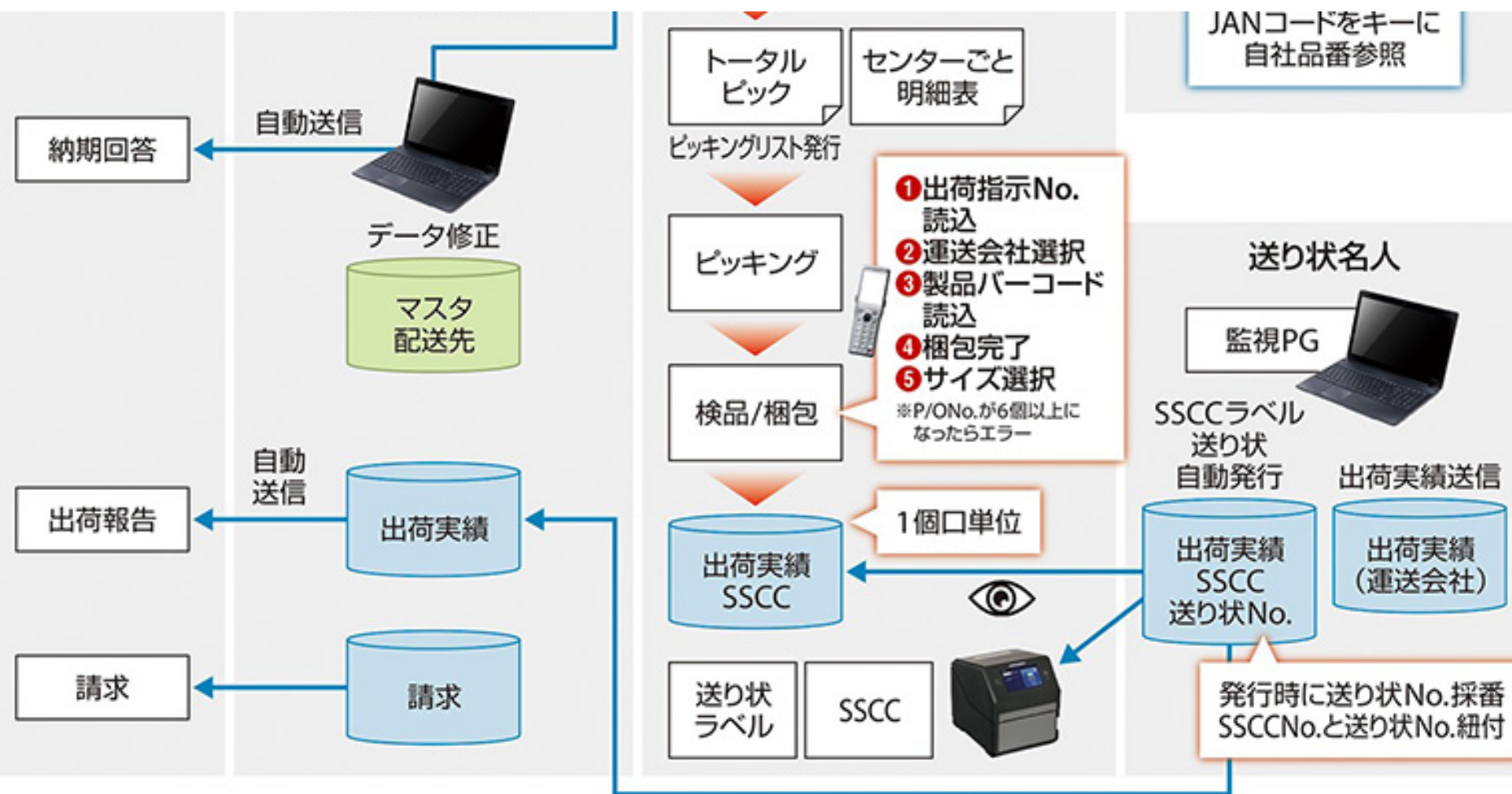
導入システム全体図



導入システム全体図



導入システム全体図



システム導入中の課題



課題

- ・ PC、ハンディアレルギー
- ・ ラベル発行タイムラグ

苦勞した点

提案時の構想

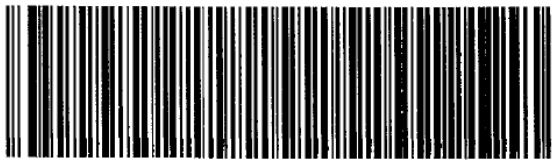
検品支援 **名**人

- 出荷検品
- 梱包情報作成
- SSCCラベル作成

送り状 **名**人

- 送り状No採番
- 送り状ラベル作成

Amazon アマゾンジャパン TPF7 アイミSSIONズパーク



00049566420090200737

7BD2MFTJ

1066 成清英明 1

荷札

発送日: 20年08月02日 個数: 1
便種: 陸便

7592000

〒270-1380 TEL 047-885-7836
千葉県印西市松崎台2-4-1 TPF7

アマゾンジャパン TPF7 アイミSSIONズパーク 様

お問い合わせ送り状No: 3598-5081-0630
佐川急便 久留米 TEL 0942-43-3009

お客様コード 13321203020
福岡県三浦郡大木町三八松1052
株式会社 ケー・コーポレーション
成清英明 (1066)
TEL 0944-75-8870

備考 7BD2MFTJ

苦労した点



導入効果

事務 作業

センター別 S S C C ラベル発行が無くなる
センター別荷札作成が無くなる
手作業による受注作業が無くなる

作業時間
95%削減
(25時間/週)

物流 作業

倉庫ごとの伝票仕分け作業廃止
運送会社個数計算作業の廃止
ハンディターミナル利用による属人性排除

作業時間
30%削減
(6時間/週)



週2, 3回の出荷 → 毎日出荷可能に！
即納率・回転率向上 チャンスロス削減

インタビューVTR
ご覧ください。

本日のインタビュー動画は
抜粋版です。後日、完全版が
当社サイトで公開予定です。

まとめ

イケヒコ・コーポレーション様業務改善ポイント

- ① 手作業によるWebEDIから
SFTP方式の自動送受信可能な仕組みに変更
- ② ハンディターミナルを利用した検品作業
- ③ 出荷現場でSSCCラベルを出力
- ④ 複写式の送り状をラベル印刷に変更し、
SSCCラベルとセットで現場で発行

乞うご期待！



USAC SYSTEM

2021年5月、
Amazon ベンダーセントラル、
Amazon EDIの業務を効率化する
ソリューションがリリース。

この先も通販需要高まる。
ビジネス拡大する。



ご清聴ありがとうございました

あなたの満足が私たち名人の誇りです

ユーザックシステム株式会社

東京本社

〒104-0033

東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル4F

TEL.03-6661-1210 FAX.03-5643-0909

大阪本社

〒541-0048

大阪市中央区瓦町1-6-10 JPビル3F

TEL.06-6228-1383 FAX.06-6228-1380

<http://www.usknet.com>

meijin@usknet.co.jp